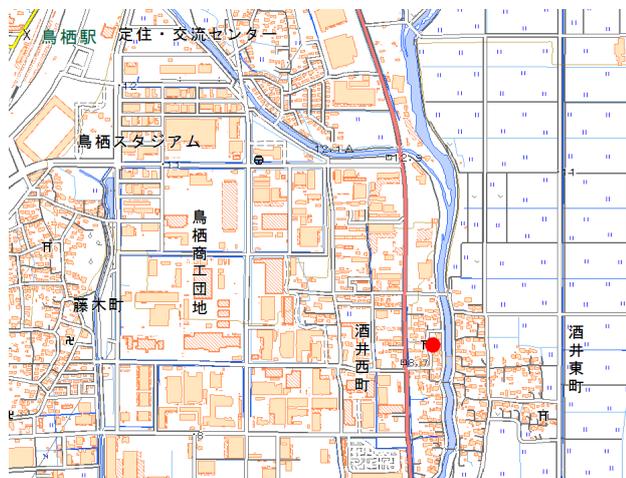


番号	32	水害復旧記念之碑		
所在地	鳥栖市酒井西町350-2 天満宮			
災害別	昭和28年(1953) 水害(28水)			
目的別	記念碑	建立年	昭和34年1月	
特記事項				



昭和28年6月(通称28水)の水害復旧記念碑が、鳥栖市酒井西町の天満宮境内に建てられている。碑には当時の被害の様態と当時の浸水深が刻まれている。

「昭和二十八年六月廿五日より四日間に亘る大豪雨の為宝満川秋光川大木川が氾濫し堤防之決潰六ヶ所農地の潰滅六町壹反歩両區は全戸軒下浸水の未曾有の災害を蒙った国庫補助及縣村當局の絶大なる援助と區民一致團結不眠不休の努力により見事復旧工事を完成した仍って之を永久に記念するため此の碑を建立する」 昭和卅四年一月建立 村長 高島正雄 収入役(以下略)



国土地理院電子国土 Web



※矢印は、当時の浸水深。



神社の床下には、水害時に備えた揚げ船が置かれている。地元の話では、この揚げ船は、もとは隣の遍照寺にあったもので、お寺の改築時にこちらに移されたとのことである。28水ときは、この船で家畜を避難させたそうである。